



WEEKLY BULLETIN
HANAMAKI SOUTH ROTARY CLUB
RI Dist.2520 placecountry-regionJapan

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を
深めるか
4. みんなのために
なるかどうか



世界に希望を生み出そう

RI 2023-2024 テーマ

「世界に希望を生み出そう」

RI 会長 ゴードン R. マッキナリー(サウス・クイーンズフェリー RC/スコットランド)

第 2520 地区ガバナー 森川 昭正 (仙台宮城ロータリークラブ)

花巻南ロータリークラブ会長 嶋 利幸

第2732回例会 令和5年10月26日

次第

- 1.開会点鐘 会長 嶋 利幸 君
- 2.ロータリーソング斉唱
- 3.四つのテスト
- 4.ゲスト紹介
- 5.会長の時間 会長 嶋 利幸 君
- 6.幹事報告 幹事 高橋 照幸 君
- 7.慶祝(月初のみ) 親睦委員会
- 8.委員会報告
- 9.ニコニコBOX ニコニコBOX委員会
- 10.出席報告 出席奨励委員会
- 11.プログラム 下記参照
- 12.閉会点鐘 会長 嶋 利幸 君

前回の内容

前回の様子について QRコードの先に
音声データと画像があります。



会長の時間

会長 嶋 利幸 君 R.5.10.19



10月24日は「世界ポリオデー」です。ポリオは非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子供です。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

ポリオウィルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、それによって身体のみひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。

ポリオの根絶は長年に渡りロータリーが力を注いでいる活動です。今まで125カ国、世界で約30億人の子供にポリオ予防接種を行ってきました。活動開始以来、世界の発症数は99.9%減っていますが、ポリオはまだ根絶されていません。

ポリオを根絶するには、野生型ウィルスによるポリオ発症が起きている2カ国(アフガニスタン、パキスタン)でウィルス感染を断ち切る必要があります。また、既にポリオ無発生地域となった国にウィルスが流入しないようにしなければなりません。

なぜポリオを根絶するのか？世界からポリオを根絶しない限り、今後10年以内に世界での年間発症数は20万件に上ると予想されています。ポリオの常在国はわずかに2カ国ですが、発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子供に及ぶこととなります。

来月11月10日には、世界ポリオデーへの協力の一貫として、照井敬孝ガバナー補佐主催、2520地区第2分区花北地区でポリオ根絶の募金活動と、チャリティーゴルフコンペ、懇親会が開催されます。懇親会からの参加も大歓迎です。たくさんのご参加をお待ちしております。

米山月間 地域社会の経済発展月間

慶祝 ※月初のみ掲載

プログラム

26日 会員卓話 高橋溥芳 君

幹事報告

- ・ハイライトよねやま Vol.283
〔公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会〕
- ・令和5年度「花巻市安全・安心まちづくり大会」開催について(ご案内)
〔花巻市防犯協会会長 花巻市長 上田東一〕
- ・社会福祉法人盛岡いのちの電話136号、事業要覧〔社会福祉法人盛岡いのちの電話事務局〕
- ・RLI研修パート I 参加者募集のご案内
〔国際ロータリー第2520地区 2023-24年度ガバナー森川 昭正 〕
- ・第53回・ルンビニー祭のご案内について
〔社会福祉法人光林会 理事長 三井 信義〕

事務所/〒025-0075 花巻市花城町10-27 花巻商工会議所内 TEL・FAX 0198-41-1133

例会[木曜12:30]ホテルグランシェール花巻/花巻市大通り1丁目6-7 TEL 0198-22-7777 FAX 22-5111

ニコニコボックス

【宮澤 一郎君 ¥10000】 国税庁長官表彰受彰することになりました。

【富澤 良一君 ¥10000】 父の葬儀に際しまして、大変、お世話になりました。
13日に葬儀、火葬、納骨、お寺参りを行うことが出来ました。

委員会報告※特になし

青少年奉仕委員会 委員長 鎌田定悦君 インターアクトの進路支援ガイダンスの件。花巻農業高校にて11月20日に予定。午後から1時10分受付開始、1時40分開会式でロータリークラブの島会長の挨拶。1時55分より開始。3クラスで2回実施。会長1名のほか、最低でも6名の参加をお願いします。

会長エレクト 照井正樹君 10月20日6時半よりグランシェールでイノベーション会議とファイヤーサイドミーティングを行います。出席予定の方はよろしくお願いいたします。

出席報告※月初のみ掲載

プログラム

社会奉仕委員長 奥山隆 君

ゲスト 豊沢川土地改良自治区理事長 久保田泰輝 様



いま世界でカーボンニュートラルやネットゼロが話題です。気候変動が深刻な課題です。2020年に、菅前総理が2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す宣言をされました。以後、大手企業を中心に削減目標を立てて動いています。先日、新聞で岩手県の脱炭素化基本方針が示されました。建物の省エネ化や、電気自動車導入、LED化を行い、2030年までに60%削減(13年比)するという目標です。

トヨタ自動車岩手工場の30周年を伝えた新聞記事中では、工場の電力を早池峰ダムで発電するという記載がありました。

土地改良区は、農家のための公共的な組合組織で、農業基盤やインフラの整備と維持管理をする団体です。また整備だけでなく、環境に配慮することも求められています。1950年に設立されて以来、様々な施設整備をしました。最近は大沢温泉周辺の、圃場整備事業を行っており、今後も太田地区等で再整備を予定しています。足下では堰払い(田んぼ脇水路の掃除)、草刈りなどの管理もします。奥山さんから紹介された豊沢川クリーン作戦という市民を交えて環境を守る清掃活動もしています。ロータリーの会員企業にもお世話になっています。アドプト協定を締結し、水路の環境整備や草刈りを大和造園さんなど多くの企業に協力いただいています。子供たちの社会科見学対応、植樹活動も毎年行っていますが、これもカーボンニュートラル・ネットゼロの実践活動に繋がっていると思っています。

加えて再生可能エネルギーの活用として、10年ほど前から太陽光発電を2ヶ所運営しております。今年の3月には、小水力発電を整備しました。また国営事業で、豊沢ダムでの水力発電整備も進んでいます。農地の大区画化、スマート農業による作業時間の短縮も進めています。これらもエネルギー削減に繋がります。

なお日本では水田から発生するメタンガスが多いそうです。いま農水省では水田の中干し期間の延長を提唱しています。稲作の中干しを1週間~10日延ばせば、メタン発生を30%減らすことができるそうです。ただし米生育にマイナスになる場合もあり、慎重に判断する必要があります。

農業を次世代へ引き継ぐためには、食料とエネルギーの安全保障も鍵です。農水省では、10月1日から2ヶ月間を「国消国産月間」と位置づけています。過度な輸入依存から抜け出そうというPR活動中です。いまJAの産直、だあすこ等でスタンプ3回分が貯まると、3000円相当の物品をプレゼントする企画を行っています。ぜひそういった取り組みへの参加をお願いします。

みちのくコココーラとスーパーのユニバースの共同企画で「奥羽山脈の自然が育む水資源を守る活動に参加しよう」というPRのチラシを配りました。ユニバースでいろはす等を購入すれば、1本につき2円が環境活動に使用されます。その寄付先は豊沢川土地改良区でございます。嶋会長とのご縁もあり、ぜひユニバースでお買い物をして、私どもの事業に寄付していただければ幸いです。

